



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月26日

上場会社名 未来工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7931 URL <https://www.mirai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 雅裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 靖 TEL 0584-68-1200
 四半期報告書提出予定日 2021年11月2日 配当支払開始予定日 2021年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年3月21日～2021年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	18,193	4.0	1,942	18.6	1,912	18.2	1,284	27.4
2021年3月期第2四半期	17,499	△7.0	1,638	△16.2	1,617	△20.4	1,007	△24.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,231百万円 (△3.8%) 2021年3月期第2四半期 1,280百万円 (0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	74.72	—
2021年3月期第2四半期	58.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	59,797	47,090	78.0
2021年3月期	58,785	46,208	77.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 46,628百万円 2021年3月期 45,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2022年3月期	—	25.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,932	2.4	3,484	△16.7	3,416	△17.1	2,312	△18.2	134.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	25,607,086株	2021年3月期	25,607,086株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	8,419,861株	2021年3月期	8,426,790株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	17,184,026株	2021年3月期2Q	17,171,503株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
2022年3月期 第2四半期決算短信資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の長期化により断続的に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出され、経済活動の抑制が継続するなど、景気回復の力強さに欠ける状況で推移いたしました。

当社グループの事業関連である住宅建築業界では、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利等が継続しており、新設住宅着工戸数は前年に比べ持家や貸家を中心に増加傾向で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、社内外での新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止に努め、関係者皆さまの健康・安全の確保を優先する行動を心がけてまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、前年の新設住宅着工戸数の大幅な落ち込みの影響を受けたことに比べ、持ち直しの動きが見られたことなどから、売上高は18,193百万円と前年同四半期に比べ693百万円(4.0%)の増収となりました。利益につきましては、増収効果や原材料単価の下落等により、営業利益は1,942百万円と前年同四半期に比べ304百万円(18.6%)の増益、経常利益は1,912百万円と前年同四半期に比べ295百万円(18.2%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,284百万円と前年同四半期に比べ276百万円(27.4%)の増益となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、「省力化機械及び樹脂成形用金型」については重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(電材及び管材)

電材及び管材につきましては、建築工事現場において技能労働者の不足が叫ばれるなか、作業の省力化を目指した製品づくりとともに、さまざまな現場に適した多種多様な製品展開を進めることにより、業界の支持を得ております。

電材では、硬質ビニル電線管「J管」とその附属品等が増加したことに加え、地中埋設管「ミラレックスF」と施工性に優れた附属品が増加したことや耐候性に優れた合成樹脂製可とう電線管「ミラフレキMF」等が堅調に推移したことにより、電線管類及び附属品が増加しました。管材では、給水給湯リフォーム用配管モール「RMモール」とその附属品等が増加しました。その結果、売上高が13,801百万円と前年同四半期に比べ627百万円(4.8%)の増収となりました。営業利益は増収効果や原材料単価の下落等により、1,680百万円と前年同四半期に比べ339百万円(25.3%)の増益となりました。

(配線器具)

配線器具につきましては、ハウスメーカーに持ち直しの動きが見られたものの、電材ルートでの本格的な回復には至らず、売上高が2,938百万円と前年同四半期に比べ46百万円(1.6%)の増収となりました。営業利益は人件費や減価償却費の増加等により172百万円と前年同四半期に比べ76百万円(30.7%)の減益となりました。

(その他)

その他につきましては、「データセンター」の受注が堅調に推移した結果、売上高が1,452百万円と前年同四半期に比べ18百万円(1.3%)の増収となりました。営業利益は420百万円と前年同四半期に比べ38百万円(8.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,011百万円増加し、59,797百万円となりました。その主な要因は、内部留保の積み増しにより現金及び預金が1,076百万円増加、有価証券の増加などにより流動資産のその他が613百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が215百万円減少、電子記録債権が59百万円減少、有形固定資産が300百万円減少、投資有価証券が94百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて129百万円増加し、12,706百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が103百万円増加、未払法人税が68百万円増加、株式付与引当金が52百万円増加、固定負債のその他が88百万円増加した一方で、電子記録債務が154百万円減少、短期借入金が20百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて881百万円増加し、47,090百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が923百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が71百万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,527百万円増加し、18,878百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,804百万円と前年同四半期に比べ666百万円の増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,912百万円と前年同四半期に比べ371百万円増加(資金増)、売上債権の減少額が274百万円と前年同四半期に比べ554百万円の減少(資金減)、仕入債務の減少額が50百万円と前年同四半期に比べ825百万円減少(資金増)したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,016百万円と前年同四半期に比べ513百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が953百万円と前年同四半期に比べ510百万円減少(使用した資金減)したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は260百万円と前年同四半期に比べ215百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増減額が前年同四半期は純増加額151百万円であったものが、当四半期は純減少額20百万円となり、その差額171百万円使用した資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月27日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,064	20,140
受取手形及び売掛金	7,907	7,692
電子記録債権	3,023	2,964
商品及び製品	3,783	3,779
原材料及び貯蔵品	1,140	1,194
その他	807	1,420
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	35,713	37,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,936	5,754
機械装置及び運搬具(純額)	3,111	3,004
土地	4,753	4,753
建設仮勘定	496	466
その他(純額)	707	726
有形固定資産合計	15,004	14,704
無形固定資産	286	216
投資その他の資産		
投資有価証券	1,257	1,163
繰延税金資産	1,079	1,164
退職給付に係る資産	1,024	1,065
長期預金	4,000	4,000
その他	595	474
貸倒引当金	△176	△169
投資その他の資産合計	7,781	7,697
固定資産合計	23,072	22,618
資産合計	58,785	59,797
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,533	2,636
電子記録債務	3,399	3,245
短期借入金	65	45
1年内返済予定の長期借入金	295	284
未払法人税等	655	723
その他	3,349	3,303
流動負債合計	10,297	10,238
固定負債		
長期借入金	160	201
再評価に係る繰延税金負債	64	64
株式付与引当金	949	1,002
役員退職慰労引当金	113	109
退職給付に係る負債	659	670
その他	331	420
固定負債合計	2,279	2,468
負債合計	12,577	12,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,067	7,067
資本剰余金	9,538	9,538
利益剰余金	45,124	46,048
自己株式	△15,935	△15,924
株主資本合計	45,796	46,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268	197
土地再評価差額金	△591	△591
退職給付に係る調整累計額	312	292
その他の包括利益累計額合計	△9	△101
非支配株主持分	422	461
純資産合計	46,208	47,090
負債純資産合計	58,785	59,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
売上高	17,499	18,193
売上原価	10,888	11,230
売上総利益	6,611	6,963
販売費及び一般管理費		
運賃	1,129	1,140
貸倒引当金繰入額	4	△0
役員報酬	147	142
給料及び手当	1,760	1,783
退職給付費用	72	55
株式付与引当金繰入額	30	29
役員退職慰労引当金繰入額	7	7
その他	1,821	1,861
販売費及び一般管理費合計	4,972	5,020
営業利益	1,638	1,942
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	19	17
保険事務手数料	3	3
作業くず売却益	5	12
その他	46	25
営業外収益合計	80	65
営業外費用		
支払利息	3	2
売上割引	86	87
その他	11	5
営業外費用合計	101	95
経常利益	1,617	1,912
特別損失		
減損損失	76	—
特別損失合計	76	—
税金等調整前四半期純利益	1,540	1,912
法人税、住民税及び事業税	568	640
法人税等調整額	△68	△51
法人税等合計	500	588
四半期純利益	1,040	1,323
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,007	1,284

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
四半期純利益	1,040	1,323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	232	△71
退職給付に係る調整額	8	△20
その他の包括利益合計	240	△91
四半期包括利益	1,280	1,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,248	1,192
非支配株主に係る四半期包括利益	32	39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,540	1,912
減価償却費	1,031	1,129
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△7
減損損失	76	—
株式付与引当金の増減額 (△は減少)	53	52
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	4
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△26	△63
受取利息及び受取配当金	△25	△24
支払利息	3	2
売上債権の増減額 (△は増加)	828	274
たな卸資産の増減額 (△は増加)	55	△50
仕入債務の増減額 (△は減少)	△876	△50
その他	45	87
小計	2,726	3,262
利息及び配当金の受取額	25	20
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△711	△577
補助金の受取額	100	100
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,137	2,804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△189	△184
定期預金の払戻による収入	126	136
有形固定資産の取得による支出	△1,464	△953
有形固定資産の売却による収入	38	2
その他	△42	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,530	△1,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	151	△20
長期借入れによる収入	350	280
長期借入金の返済による支出	△243	△250
社債の発行による収入	97	146
社債の償還による支出	△45	△62
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△360	△360
その他	5	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44	△260
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	562	1,527
現金及び現金同等物の期首残高	15,068	17,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,630	18,878

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月21日至2020年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,174	2,892	16,066	1,433	17,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	97	—	97	2,315	2,412
計	13,271	2,892	16,163	3,749	19,912
セグメント利益	1,341	248	1,590	459	2,049

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,590
「その他」の区分の利益	459
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△332
棚卸資産の調整額	△1
有形固定資産の調整額	△82
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,638

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電材及び 管材	配線器具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,801	2,938	16,740	1,452	18,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	107	—	107	1,955	2,062
計	13,909	2,938	16,847	3,408	20,255
セグメント利益	1,680	172	1,853	420	2,273

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、省力化機械及び樹脂成形用金型事業、電気通信事業、ケーブルテレビ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,853
「その他」の区分の利益	420
セグメント間取引消去	15
全社費用(注)	△326
棚卸資産の調整額	△0
有形固定資産の調整額	△18
無形固定資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,942

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、「省力化機械及び樹脂成形用金型」については重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

3. 補足情報

2022年3月期 第2四半期決算短信資料

1. 業績と今期予想 (連結)

科目	2020年3月期		2021年3月期		2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		2022年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	百万円 37,573	% 4.3	百万円 36,069	% △4.0	百万円 17,499	% △7.0	百万円 18,193	% 4.0	百万円 36,932	% 2.4
営業利益	4,211	7.8	4,184	△0.6	1,638	△16.2	1,942	18.6	3,484	△16.7
経常利益	4,281	9.3	4,121	△3.7	1,617	△20.4	1,912	18.2	3,416	△17.1
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	2,824	△31.3	2,826	0.1	1,007	△24.7	1,284	27.4	2,312	△18.2
1株当たり当期(四半期)純利益	157.65円		164.58円		58.68円		74.72円		134.60円	

2期ぶりの増収、営業利益及び経常利益は2期ぶりの増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3期ぶりの増益であります。

2. セグメント別の実績と予想 (連結)

売上高

セグメント	2020年3月期		2021年3月期		2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		2022年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 28,396	% 3.6	百万円 27,272	% △4.0	百万円 13,174	% △6.8	百万円 13,801	% 4.8	百万円 28,125	% 3.1
配線器具	6,260	4.4	5,938	△5.1	2,892	△4.9	2,938	1.6	6,104	2.8
その他	2,916	11.2	2,858	△2.0	1,433	△12.1	1,452	1.3	2,702	△5.5
売上高	37,573	4.3	36,069	△4.0	17,499	△7.0	18,193	4.0	36,932	2.4

営業利益

セグメント	2020年3月期		2021年3月期		2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		2022年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 3,423	% 2.6	百万円 3,509	% 2.5	百万円 1,341	% △15.6	百万円 1,680	% 25.3	百万円 3,137	% △10.6
配線器具	759	22.1	563	△25.8	248	△15.9	172	△30.7	436	△22.5
その他	696	11.7	844	21.2	459	18.8	420	△8.5	560	△33.6
調整額	△668	△1.5	△733	9.7	△410	29.1	△330	△19.5	△650	△11.4
営業利益	4,211	7.8	4,184	△0.6	1,638	△16.2	1,942	18.6	3,484	△16.7

減価償却費

セグメント	2020年3月期		2021年3月期		2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		2022年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
電材及び管材	百万円 1,778	% 7.7	百万円 1,916	% 7.7	百万円 838	% 2.8	百万円 943	% 12.5	百万円 2,113	% 10.3
配線器具	276	14.9	329	19.1	130	14.9	140	7.4	440	33.6
その他	290	△0.7	274	△5.5	131	△5.3	125	△4.3	280	2.5
調整額	△149	26.9	△154	3.0	△68	3.6	△79	15.9	△120	△22.2
減価償却費	2,195	6.3	2,365	7.7	1,032	3.0	1,129	9.4	2,714	14.8

設備投資額

期別 セグメント	2020年3月期		2021年3月期		2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		2022年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
電材及び管材	1,882	23.4	1,967	4.5	1,066	41.8	666	△37.5	1,708	△13.2
配線器具	398	56.7	582	46.0	155	△32.0	162	4.6	560	△3.7
その他	171	△38.3	202	18.1	112	23.4	92	△17.1	274	35.8
調整額	△156	23.5	△198	26.7	△196	67.9	△122	△37.8	△130	△34.5
設備投資	2,295	19.0	2,553	11.2	1,137	19.2	800	△29.9	2,414	△5.5

以 上